

臨床検査科

臨床検査科技師長 溝口 亜由美

1 部門目標

- ・院内研修会参加率向上
- ・院内業務の適正化

2 業務体制・スタッフ

- ・業務体制：検体検査（生化学・免疫・血液・凝固・一般・輸血・細菌）、
生理機能検査、耳鼻科関連検査、病理・細胞診検査、採血
（委託職員は生化学・免疫検査を担当）
- ・スタッフ：臨床検査技師 36名
（常勤職員27名・会計年度任用職員3名・委託職員(BML) 6名）
日直・夜間勤務は常勤職員1名と委託職員1名の計2名で対応している。

3 業務実績

	件数	前年比%		件数	前年比%		件数	前年比%
血液	290,579	106	細菌	34,622	101	生化・免疫	164,415	104
採血	27,036	104	病理	11,351	91	外注	34,703	112
一般	133,188	102	生理	13,328	101			
輸血	14,540	107	耳鼻科	3,432	98	総件数	727,194	104

- ・各部門の前年比は、血液部門 106%、採血部門 104%、一般部門 102%、輸血部門 107%、
細菌部門 101%、病理・細胞診部門 91%、生理部門 101%、耳鼻科部門 98%、
委託検査の生化学・免疫部門 104%、外注検査 112%
総件数は約 30,000 件増加し、727,194 件、前年比 104%と増加であった。
- ・令和 6 年 4 月より FilmArray 検査を正式稼動
保険適応である呼吸器パネル（SARS-COV-2 も目的とすることで適応）28 件、
髄膜炎、脳炎パネル 31 件、血液培養パネル 5 件を実施した。
- ・令和 6 年 11 月より心肺運動負荷試験（CPX）を開始、循環器内科 3 件、先天性診療部
10 件を実施した。
- ・令和 6 年度より、夜間当直を勤務扱いとし、二交代制勤務へ移行した。
- ・各種委員会活動に積極的に参画し、主なものとして、輸血療法委員会（副委員長）、
感染対策委員会、医療安全管理委員会（セーフティーマネージャー）、SCT 委員会、ICT
委員会、DMAT 等においてチーム医療の推進に寄与した。
CPC 開催に際しては資料作成等を日常業務と並行して遂行し、病院運営への貢献に努めた。
- ・臨地実習生については、4 月から 8 月かけて 4 名の実習生を受け入れ、実習指導を行った。

4 1年間の総括

部門目標とした「院内研修会参加率の向上」に向けて、積極的な働きかけを行った。
平均参加回数は5回とやや低調ではあったが、自部署以外の業務内容や取り組みに理解を深める機会となり、新病院『幕張海浜病院』における連携強化に結びつくものと期待される。
また、「院内業務の適正化」の一環として電子カルテを活用した『臨床検査科ニュース』を定期的に発信し、コスト削減の推進や臨床検査科各部門の業務内容について、院内への周知を行った。
さらに、各分野における認定資格の取得に励み、専門的知識および技術の向上に努めた。

5 今後の目標

- ・新病院『幕張海浜病院』移転に向けて、円滑な業務運営と質の高い医療提供を目指し、認定資格取得をはじめとした専門性の向上に取り組み、地域社会への貢献に努める。
- ・医師や看護師の業務負担軽減を目的とした改善、医療安全管理を含めたチーム医療の推進に取り組み、病院運営の円滑化と質の向上に貢献する。
- ・業務体制の面では、夜間当直の勤務化に続き、日直の勤務化導入を検討し、業務の効率化と職員の負担軽減を目指していきたい。

臨床検査科令和6年度学会発表・論文・著書等

【令和6年度】

- 1) 検査精度を高める up-to-date 微生物検査の適切な検体採取法と検査時の諸注意 咽頭・扁桃・鼻腔・鼻咽腔
静野健一
臨床と微生物 51 巻 (2024 年 5 月発行)
- 2) 血液培養陽性時の薬剤 Disk による耐性情報迅速報告の取り組み
静野健一 佐久間彩 森山里香 山田房子 大塚武 溝口亜由美
第 35 回臨床迅速診断研究会 (2024 年 6 月)
- 3) 便培養検査の基礎
静野健一
第 2 回千葉県微生物検査研究班研修会 (2024 年 9 月)
- 4) 遺伝子検査 (自動機器) のピットフォール
静野健一
第 56 回日本医療検査科学会 (2024 年 10 月)
- 5) 小児喀痰検査
静野健一
臨床と微生物 51 巻増刊号 (2024 年 10 月発行)
- 6) POT の判定方法・結果の解釈
静野健一
第 2 回千葉県微生物検査研究班研修会 (2024 年 11 月)
- 7) 症例から学ぶ! グラム染色 魂のノック!
静野健一
第 56 回日本小児感染症学会 (2024 年 11 月)

- 8) 血液培養陽性時の薬剤ディスクによる耐性情報迅速報告の取り組み
佐久間彩、静野健一、森山里香、山田房子、大塚武、溝口亜由美
臨床微生物迅速診断研究会誌 第34巻1号 p.11-15 (2024年12月)
- 9) 千葉県における SARS-CoV-2 核酸増幅検査外部精度管理の試み
静野健一
医学検査誌 第74巻1号 p.140-146 (2025年1月)
- 10) システムを活用した検査業務の効率化と安全性向上
静野健一
第36回日本臨床微生物検査学会 (2025年1月)
- 11) 培養・同定検査における職人技と標準化
静野健一
第36回日本臨床微生物検査学会 (2025年1月)
- 12) 標準化へ向けた尿培養検査検討報告
静野健一
第36回日本臨床微生物検査学会 (2025年1月)
- 13) Miltenberger 関連抗原に対する不規則抗体の基礎検討
丹麻美
第159回日本輸血・細胞治療学会 関東甲信支部例会 (2025年2月)
- 14) 確認しよう 迅速診断検査の活用方法と注意点
静野健一
日本環境感染学会地域セミナー 関東ブロック研修会 (2025年3月)
- 15) めざせ”達人” 知っておくべき豆知識 グラム陰性桿菌② ～Vibrio 属菌～
静野健一
第29回関東甲信地区マイクロスキャン研究会 (2025年3月)